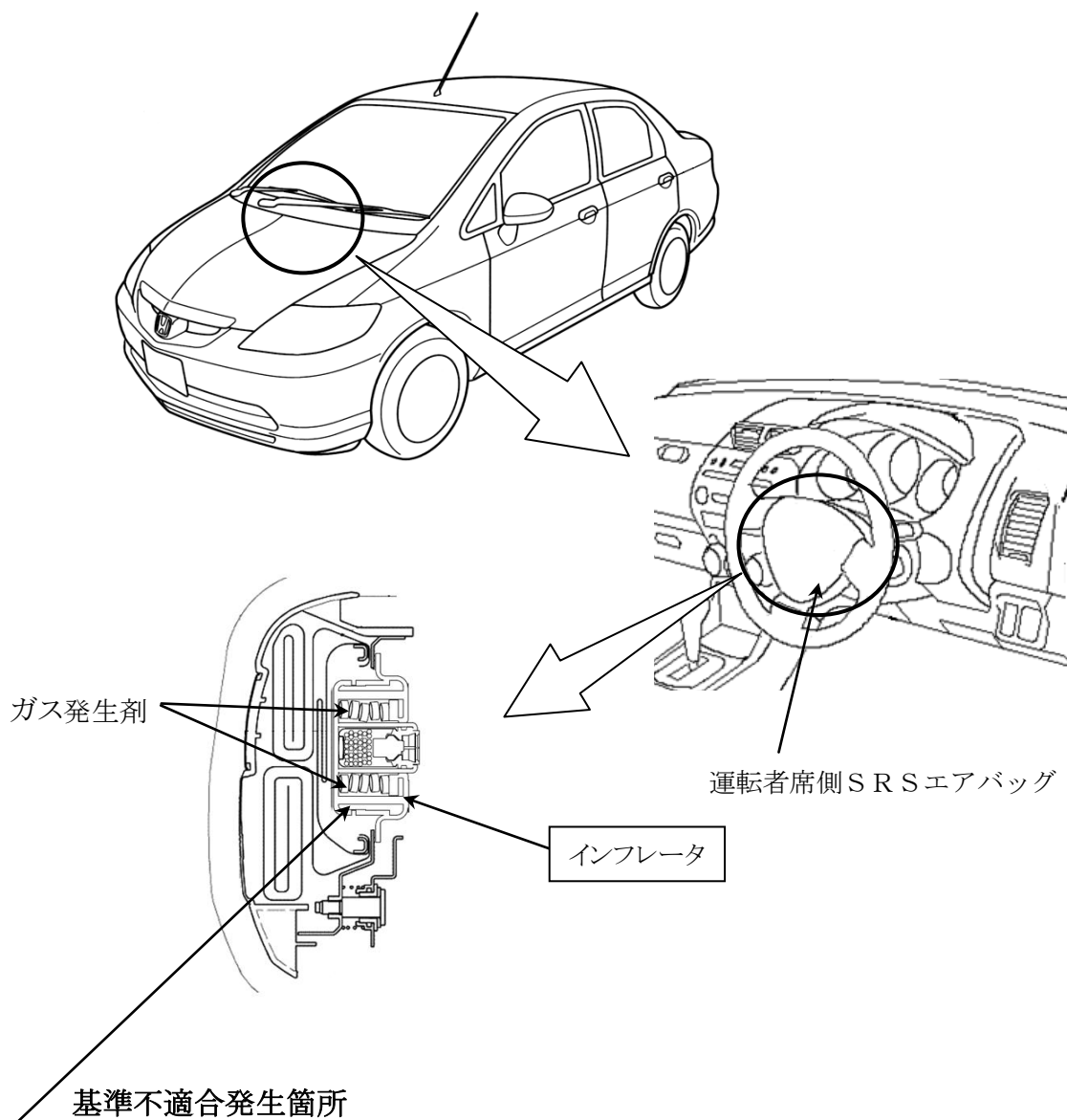


改善箇所説明図



運転者席側SRSエアバッグのインフレーター（膨張装置）において、インフレーター製造時におけるガス発生剤充填後の吸湿管理が不適切なため、使用過程での外気温等の影響によりガス発生剤が膨張し、密度が低下するものがある。そのため、エアバッグ展開時にインフレーター内圧が異常上昇し、インフレーター容器が破損して飛び散り、乗員が負傷するおそれがある。

改善の内容

全車両、運転者席側SRSエアバッグのインフレーターを対策品と交換する。

注： は交換部品を示す。

識別：助手席ドアの下側ヒンジ部上側ボルト頭部に黄色ペイントを塗布する。